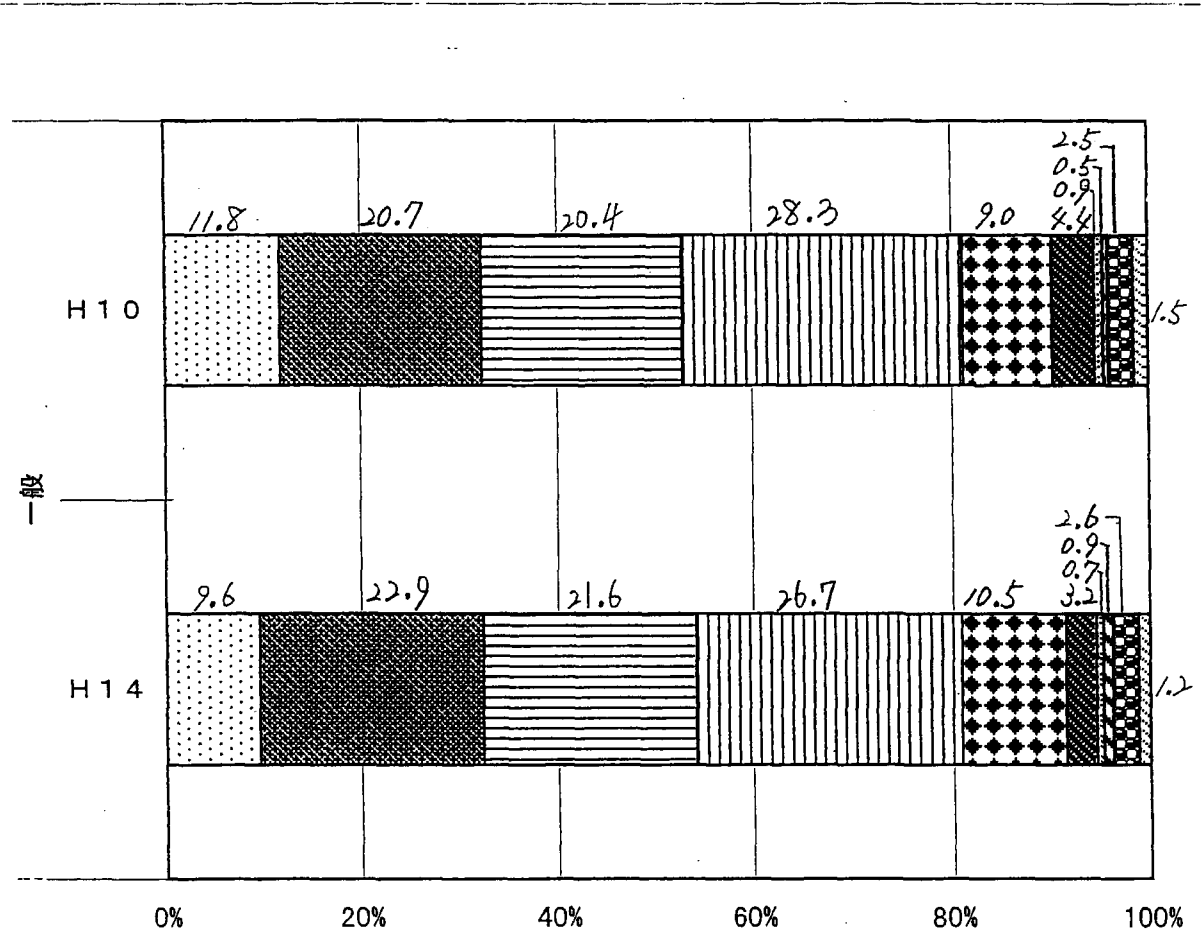


<終末期における療養の場所>

自分が痛みを伴う末期状態（死期が6ヶ月程度より短い期間）の患者となった場合に、一般国民が希望する療養の場所については、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」が最も多く（般27%）、次に「なるべく早く緩和ケア病棟に入院したい」（般23%）、「自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい」（般22%）、「自宅で最期まで療養したい」（般11%）の順となっている。

問 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。
 (○は1つ)
 問の番号 一般4-1

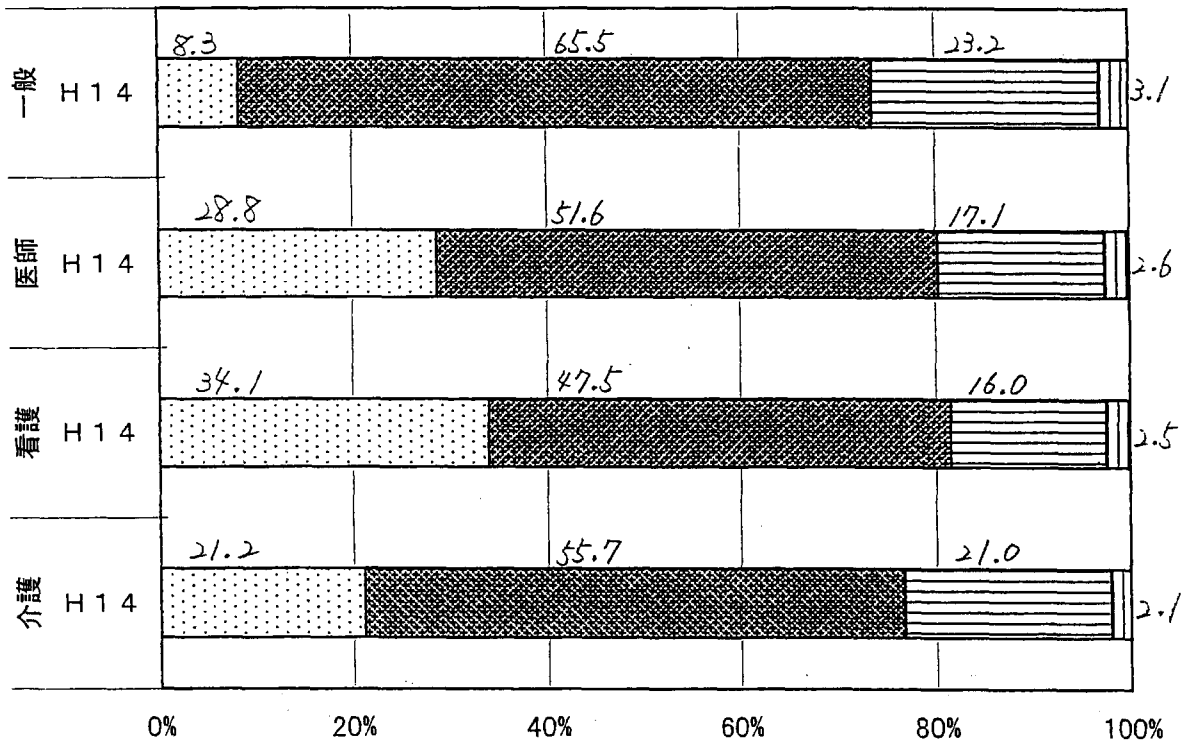


- なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 老人ホームに入所したい
- その他
- わからない
- 無回答

自宅で最期まで療養することについて、多くの者が「実現困難である」と回答しており（般 66%, 医 52%, 看 48%, 介 56%）、「実現可能」と回答した者は比較的少ない（般 8%, 医 29%, 看 34%, 介 21%）。

問 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。（○は1つ）

問の番号 一般4-1, 2 医師8-1, 2 看護8-1, 2 介護8-1, 2



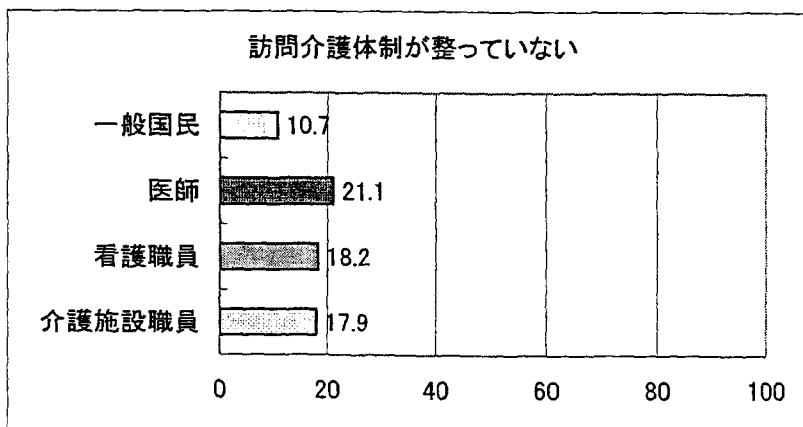
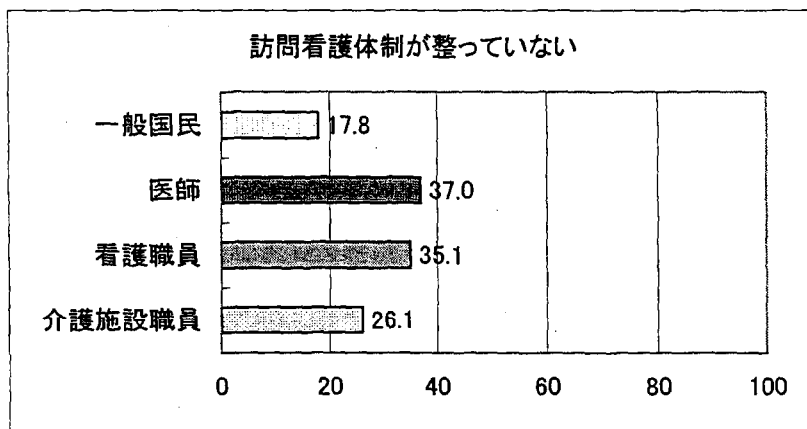
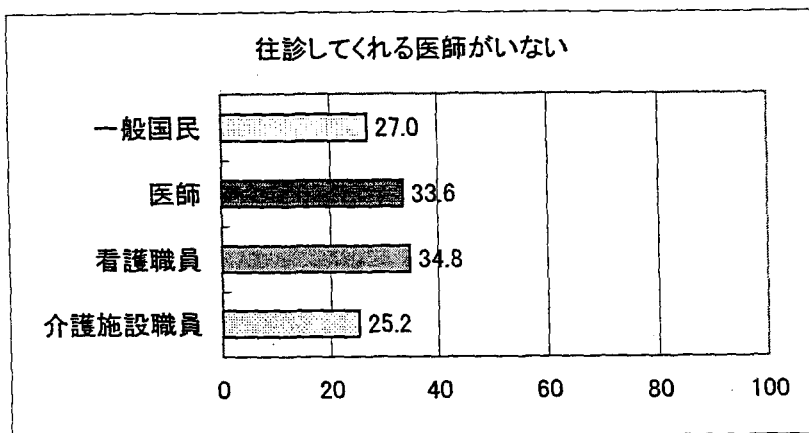
□ 実現可能である ■ 実現困難である ◻ わからない □ 無回答

自宅で最期まで療養するのは「実現困難である」と回答した具体的な理由としては、「介護してくれる家族に負担がかかる」（般 78%,医 69%,看 77%,介 74%）が最も多く、次いで「病状が急変したときが不安である」（般 57%,医 54%,看 53%,介 65%）が多い。

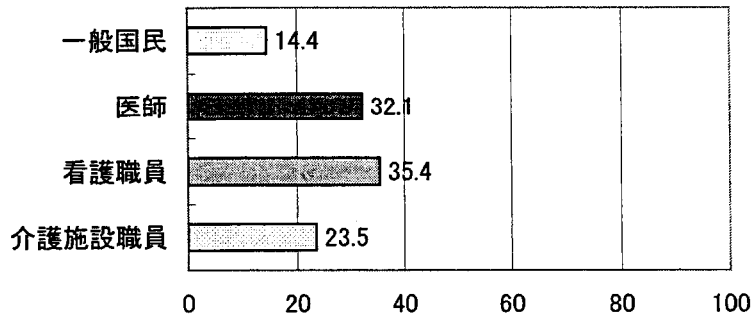
（「自宅で最期まで療養することは実現困難である」と回答した者に対する質問）

問 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。（○はいくつでも）

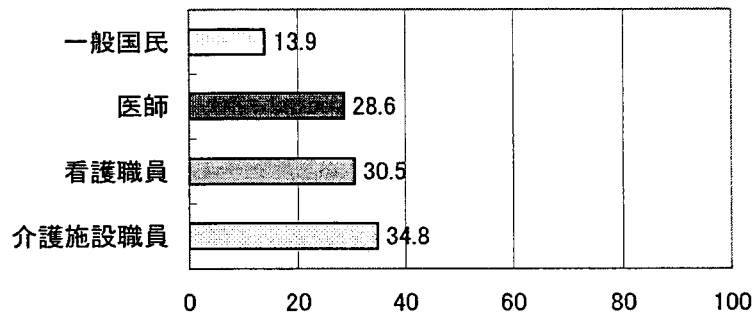
問の番号 一般4-2補問 医師8-2補問 看護8-2補問 介護8-2補問



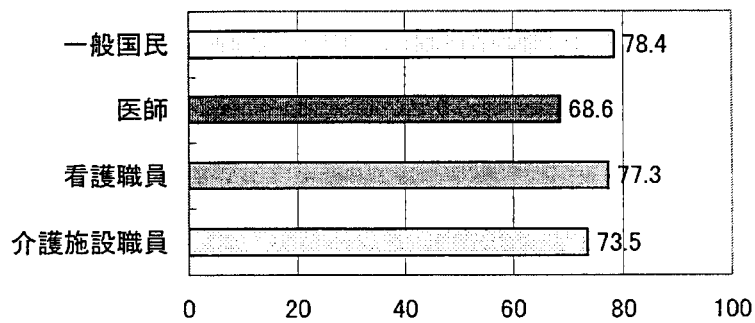
24時間相談にのってくれるところがない



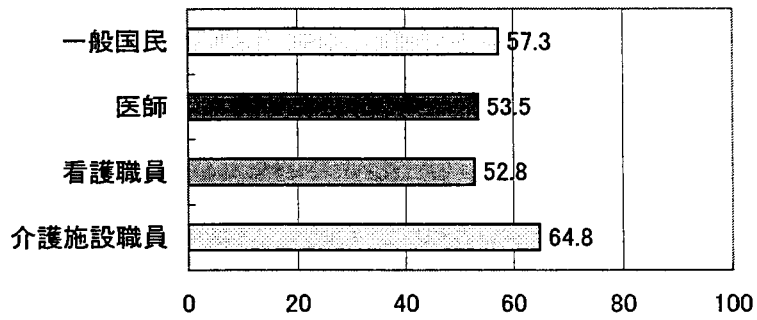
介護してくれる家族がない



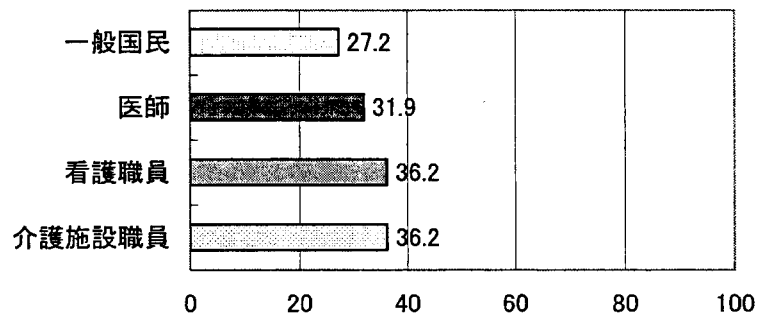
介護してくれる家族に負担がかかる



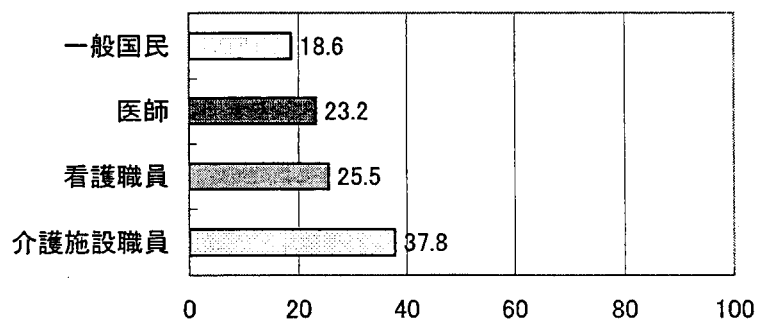
症状が急変したときの対応に不安である



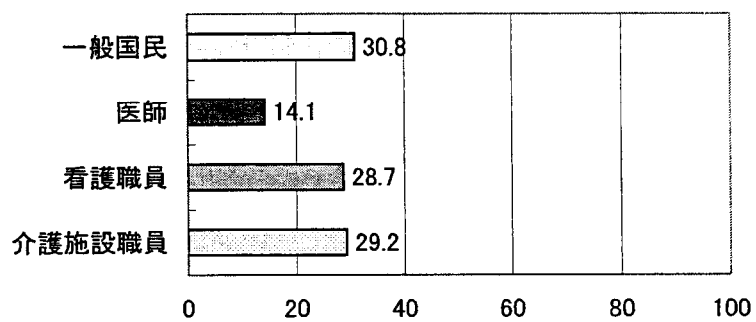
症状急変時すぐに入院できるか不安である



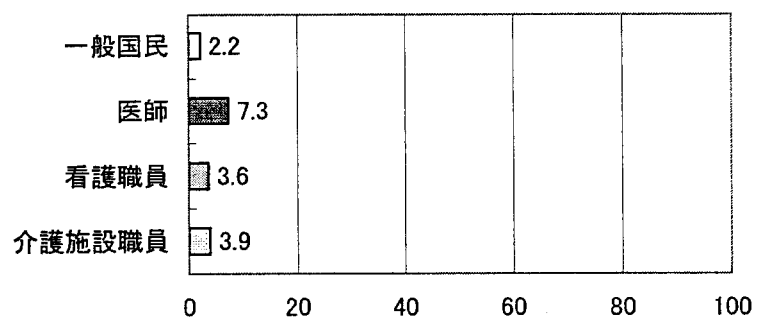
居住環境が整っていない



経済的に負担が大きい



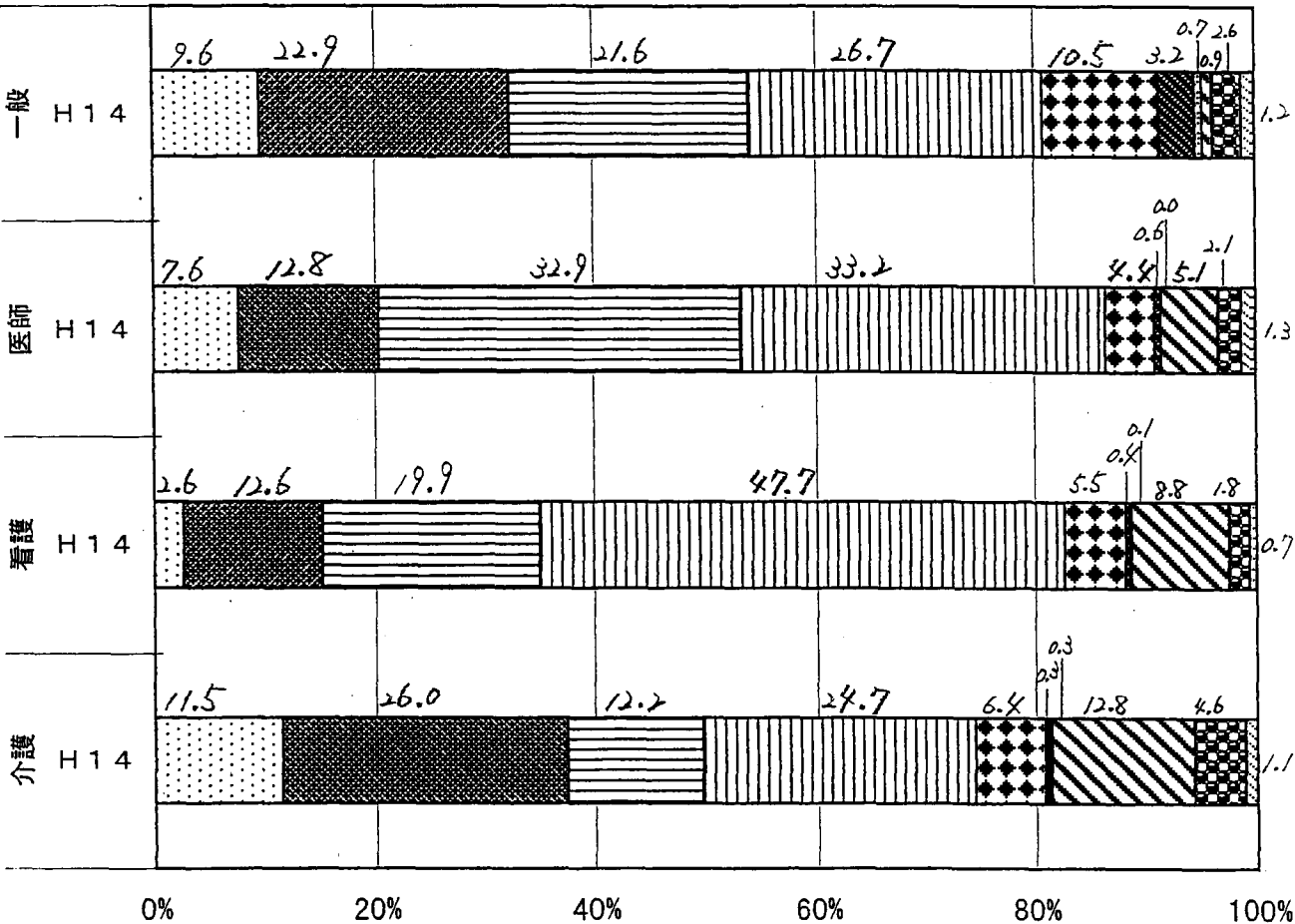
その他



自分の患者（または家族）が痛みを伴う末期状態（死期が6ヶ月程度よりも短い期間）の患者になった場合に薦める療養の場所については、おおむね「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟へ入院させたい」（般 27%、医 33%、看 48%、介 25%）が最も多く、「自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関へ入院させたい」（般 22%、医 33%、看 20%、介 12%）、「なるべく早く緩和ケア病棟へ入院させたい」（般 23%、医 13%、看 13%、介 26%）が多くなっている。

問 あなたが担当している患者・入所者（あなたの家族）が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヵ月程度あるいはそれより短い期間を想定）場合、療養生活はどこを薦めますか。（○は1つ）

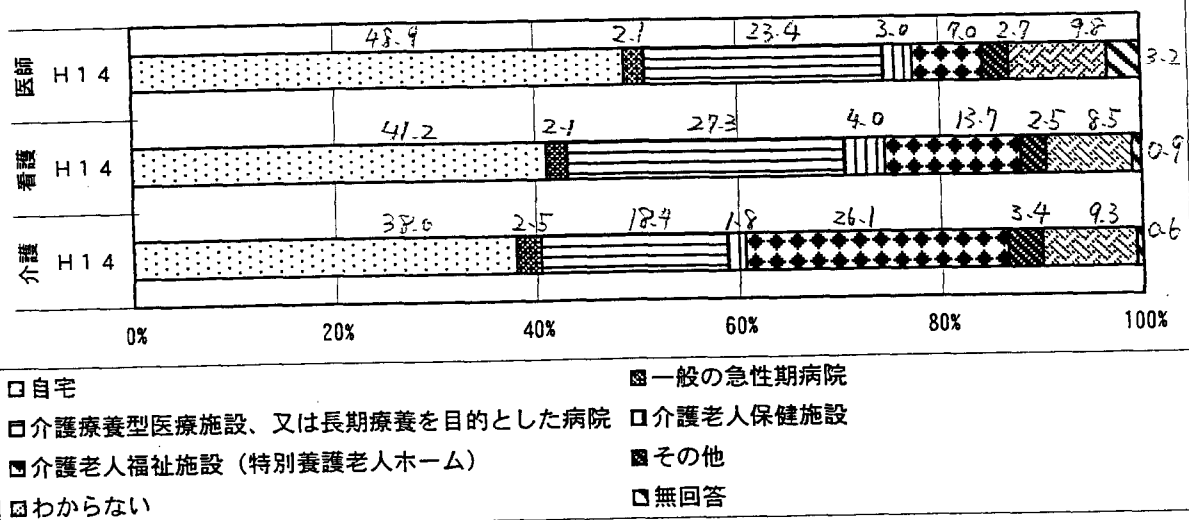
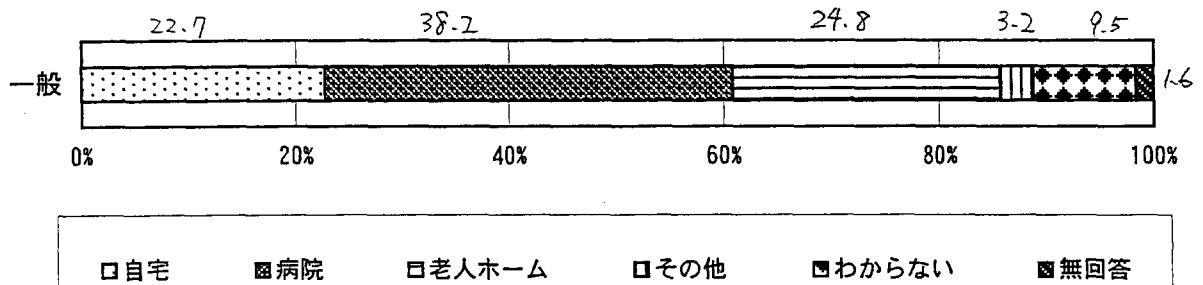
問の番号 一般6 医師8-1 看護8-1 介護8-1



- なるべく早く今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい
- ▨自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
- ▨老人ホームに入所したい
- その他
- わからない
- 無回答

自分が高齢となって、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾患に侵された場合、一般国民は、病院、次いで老人ホーム、自宅で療養することを希望している（各々38%、25%、23%）。また、医師は、自宅、次いで介護療養型医療施設又は長期療養を目的とした病院で療養することを希望しており（各々49%、23%）、看護職員も自宅、次いで介護療養型医療施設又は長期療養を目的とした病院で療養することを希望している（各々41%、27%）。介護施設職員は自宅、次いで介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で療養することを希望している（各々38%、26%）

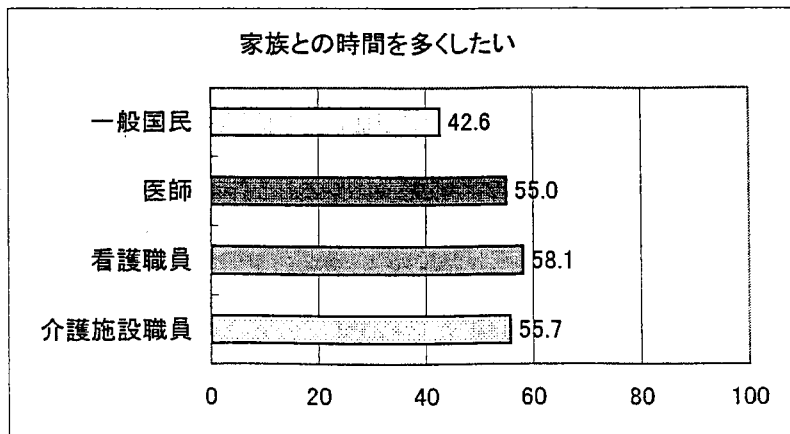
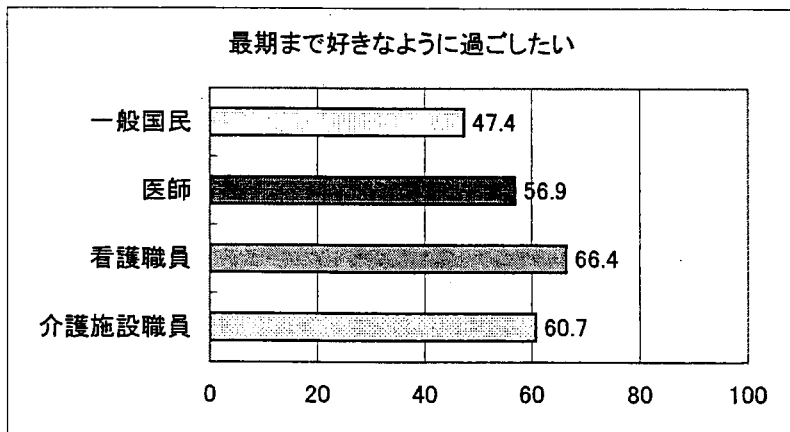
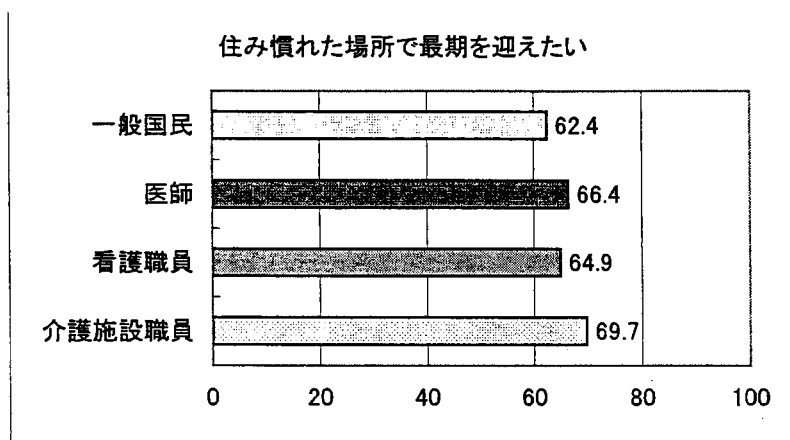
問 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいですか。
 (○は1つ) 問の番号 一般9 医師12 看護12 介護12

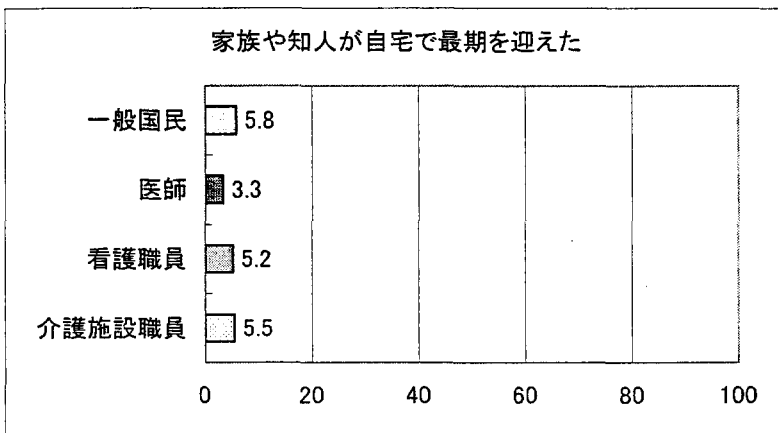
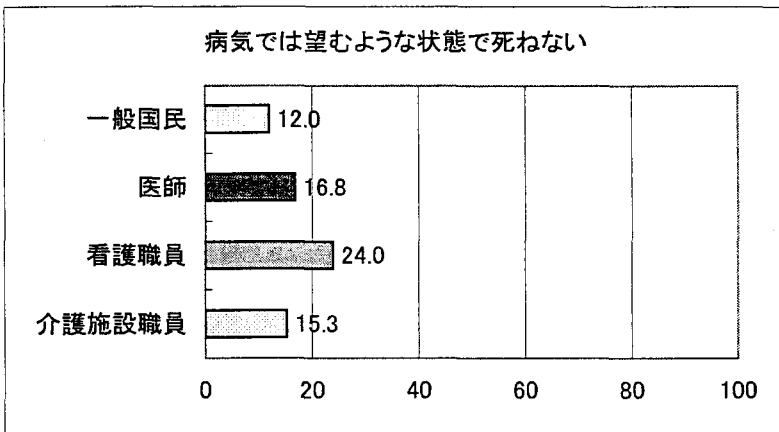
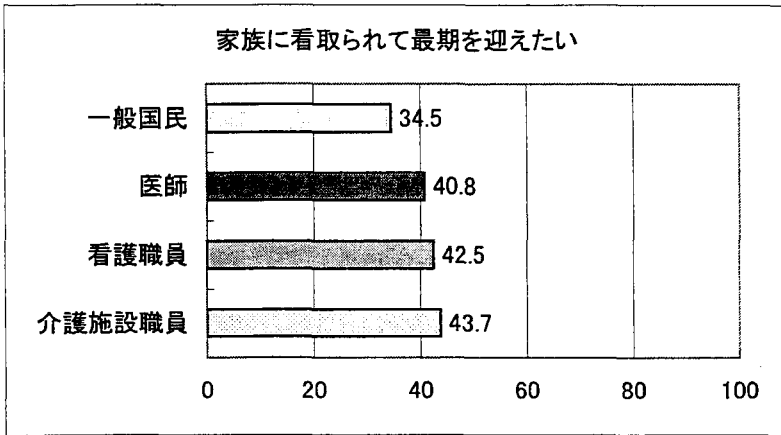


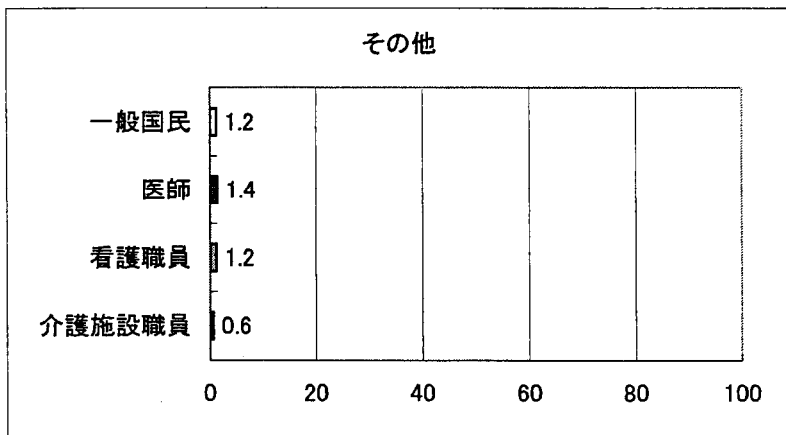
高齢になった場合の終末期を自宅で療養したいと回答した者は、その理由として「住み慣れた場所で最期を迎えたい」（般 62%、医 66%、看 65%、介 70%）、「最期まで好きなように過ごしたい」（般 47%、医 57%、看 66%、介 61%）、「家族との時間を多くしたい」（般 43%、医 55%、看 58%、介 56%）をあげる者が多い。

（自分が高齢となって治る見込みのない疾患に侵された場合、自宅で最期まで療養したいと回答した者に対する質問）

問 なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。（○はいくつでも）
 問の番号 一般9補問1 医師12補問1 看護12補問1 介護12補問1



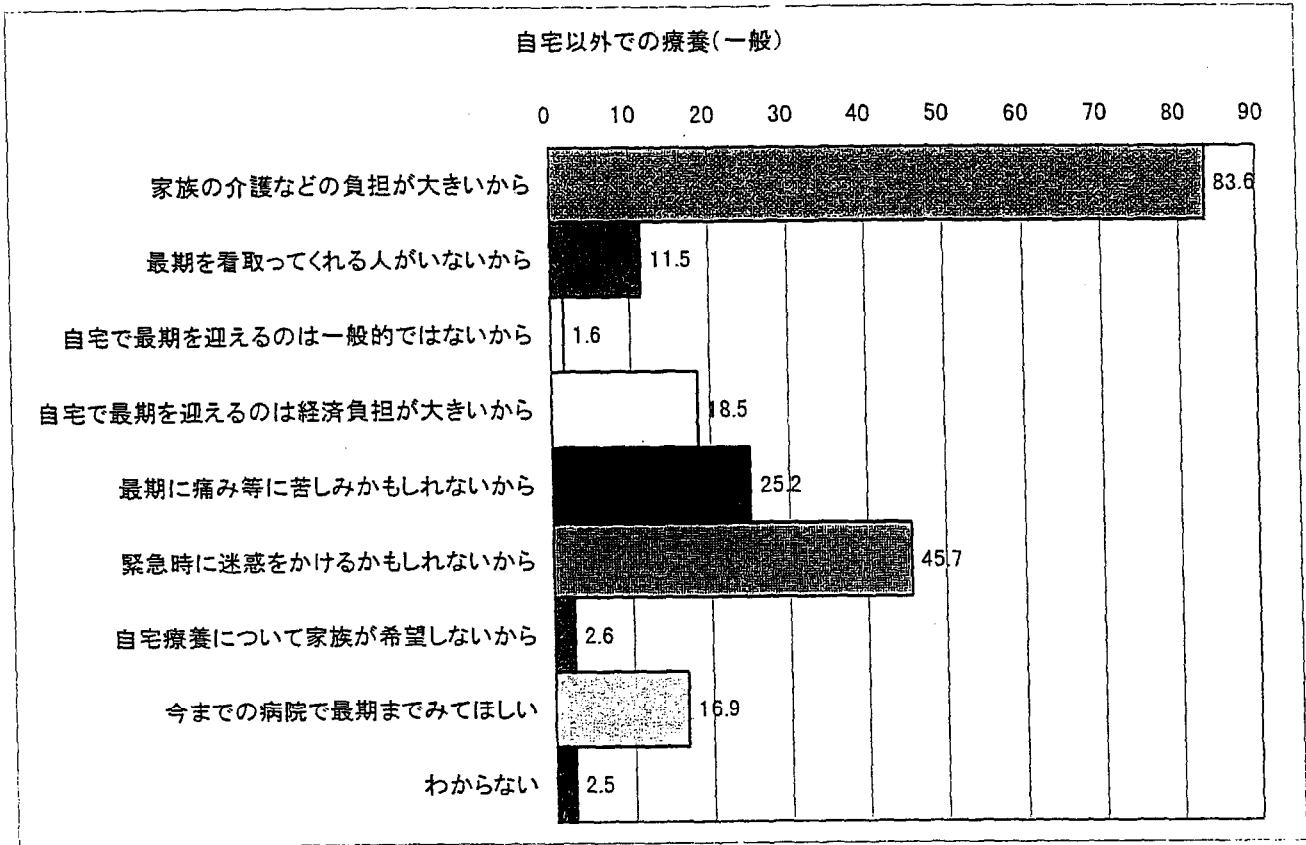


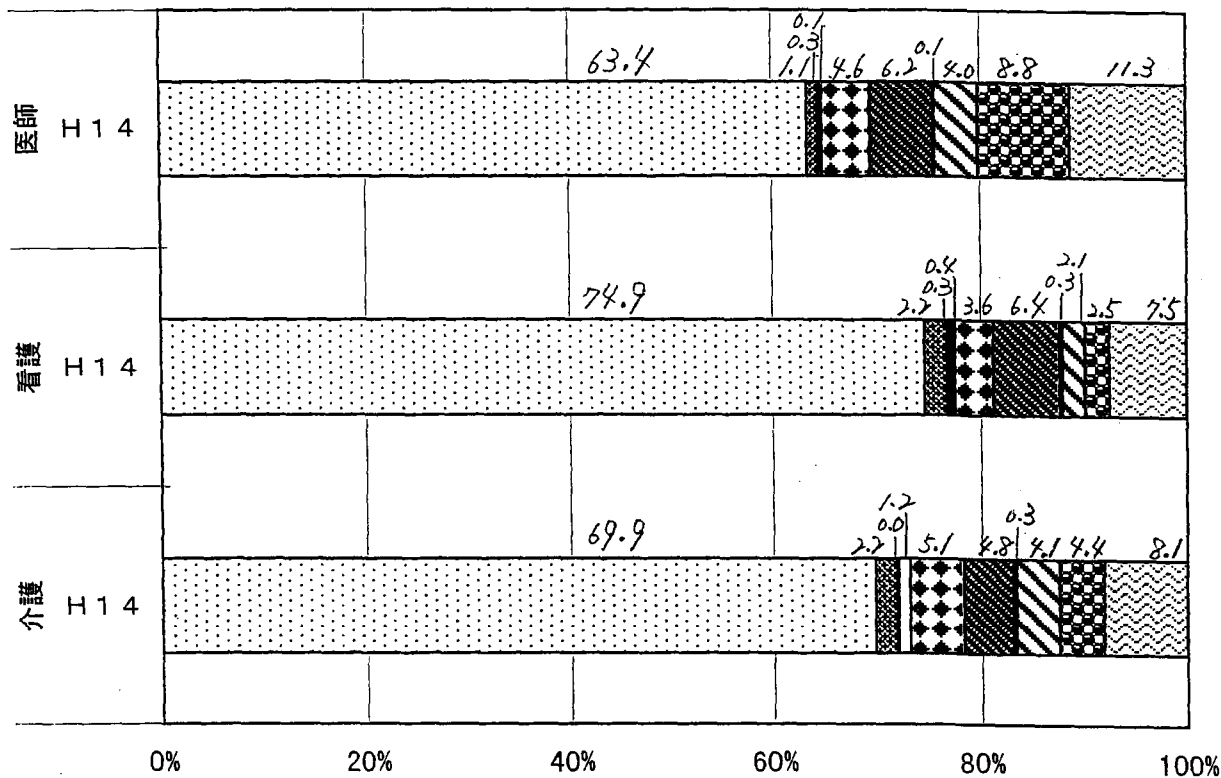


高齢になった場合の終末期を自宅以外で療養したいと回答した理由としては、「自宅では家族の介護などの負担が大きいから」が最も多く（般 84%）、次いで「自宅では緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから」（般 46%）が多い。

（自宅以外の場所で最期まで療養したいと回答した者に対する質問）

問 あなたはなぜ、自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。
 （○はいくつでも／一般）（○は1つ／医師・看護・介護）
 問の番号 一般9 補問2 医師1 2 補問2 看護1 2 補問2 介護1 2 補問2





- 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 自宅では、かかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 自宅で見送るのは、一般的ではないため
- 自宅で見送るのは、経済的に負担が大きいから
- 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 自宅での療養について、家族が希望しないから
- それまでかかっていた病院（施設）の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- わからない
- 無回答

自分の患者（または家族）が高齢になって、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに治る見込みのない状態になった場合の療養の場所としては、一般国民は、病院、次いで自宅、老人ホームを希望している（各々41%、27%、17%）。また、医師は介護療養型医療施設又は長期療養を目的とした病院、次いで、自宅で療養することを希望しており（各々34%、29%）、看護職員も介護療養型医療施設又は長期療養を目的とした病院、次いで、自宅で療養することを希望している（各々38%、23%）。介護施設職員は介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、次いで、介護療養型医療施設又は長期療養を目的とした病院で療養することを希望している（各々34%、26%）。

問 あなたの患者・入所者（家族）が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。（○は1つ） 問の番号 一般10 医師13 看護13 介護13

